

科目名		演習Ⅱ（地方自治論）	
担当教員	江藤俊昭	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	木曜・2時限	開講年次	2年
到達目標	<p>地方分権一括法施行以降でも、第28次地方制度調査会は「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」等で現行法体系の見直しを提言した。地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関して、一石を投じたものとして評価してよいであろう。その後も第29次から第31次までの地方制度調査会答申が提出され、改革が進んでいる。今日、こうした一連の動向を素材として、生きた改革を学びながら地方自治を考え、その課題を探ることを目的としている。</p> <p>これらを踏まえて、修士論文指導を行う。</p>		
授業概要	<p>地方分権改革には、地方自治法や公職選挙法等による自治体の組織や運営、公職者（首長や議員）の選出の仕方の多くの規制を抜本的に改革する必要がある。自治体の事務や財源をどのように決めるかという地域のルールの制度化へと進みざるをえないからである。体系の抜本的な見直しや、住民や自治体からの自主性・自律性を拡大する運動や制度化である。</p> <p>基礎知識を学びつつ、修士論文の問題意識を明確化し先行研究の熟読してそれに基づき、報告・議論を繰り返しながら、それを踏まえて修士論文指導を行う。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	今日の地方自治の動向（概観）		
第2回	地方政治の台頭——行政重視から住民が主体の政治へ		
第3回	地方分権改革の動向と住民自治		
第4回	二元的代表制の「的」の意味を考える		
第5回	地方政府形態としての二元的代表制の選択		
第6回	地方自治の二層制の変化と住民自治		
第7回	議会改革を多層な自治の住民統制に活かす		
第8回	地域経営のルールとしての自治・議会基本条例制定の動向		
第9回	地域経営のルールとしての自治・議会基本条例のバージョンアップ		
第10回	地域経営の軸としての総合計画		
第11回	ローカル・ガバナンス・協働・新しい公共		
第12回	地域経営の新たな手法		
第13回	議会からの政策サイクル（上）——議会改革の本史とその第2ステージ		
第14回	議会からの政策サイクル（下）——議会改革の本史とその第2ステージ		
第15回	新しい議会の条件整備および修士論文指導		
第16回	執行機関とその多元主義および修士論文指導		
第17回	地方選挙制度の現状および修士論文指導		
第18回	地方選挙制度改革および修士論文指導		
第19回	会派とマニフェストおよび修士論文指導		
第20回	地域政党および修士論文指導		
第21回	住民参加の変容と議会の役割Ⅰ（多様な住民参加）および修士論文指導		
第22回	住民参加の変容と議会の役割Ⅱ（自治体内分権、自治体間連携）および修士論文指導		
第23回	地域政治の主体Ⅰ（主権者教育の現在）および修士論文指導		
第24回	地域政治の主体Ⅱ（主権者教育と議会）および修士論文指導		
第25回	諸外国の地方自治・地方政治（上）および修士論文指導		
第26回	諸外国の地方自治・地方政治（下）および修士論文指導		
第27回	地域政治の理論（上）および修士論文指導		
第28回	地域政治の理論（下）および修士論文指導		
第29回	憲法と地方自治法および修士論文指導		
第30回	足元からの法律改正および修士論文指導		

<p>準備学習等 ( 課題・予習・ 復習・調査等 )</p>	<p>事前に配布する資料を読み講義に参加する。地方分権一括法施行以降の地方制度調査会答申、および総務省内の研究会報告書(地方議会、地方議会・議員、町村議会等)は、事前に入試熟読しておいてもらいたい。報告・議論を繰り返しながら論点を明確にする。 修士論文執筆に当たっては、早め書き上げ10回は書きなおす時間をとるようにしてもらいたい。</p>
<p>評価方法・基準 ・講評の方法</p>	<p>報告とレジュメ(40点)、レポート提出(60点)によって評価する。 講評は、個別にメールで対応する。</p>
<p>テキスト・参考書</p>	<p>テキスト:なし(ただし、事前に資料配布)。 参考書:地方分権一括法施行以降の地方制度調査会答申、および総務省内の研究会報告書(地方議会、地方議会・議員、町村議会等)。江藤俊昭, 2012, 『自治体議会学——議会改革の実践手法——』ぎょうせい。江藤俊昭, 2016, 『議会改革の第2ステージ』ぎょうせい。今井照, 2017, 『地方自治講義』筑摩書房。</p>
<p>前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針</p>	<p>授業アンケートによれば、授業での教材や講義、その後の討議について問題はなく(充実)、基本的に踏襲する。なお、講義途中でも要望があれば授業方針を変更する場合もある。</p>
<p>学生への メッセージ</p>	<p>事前配布資料を読むとともに、積極的に討議に参加してほしい。修士論文骨子、第一次草稿等は、できるだけ早く書くことを指導する。</p>
<p>授業に参考と なるサイト</p>	<p>総務省審議会・委員会 <a href="http://www.soumu.go.jp/menu_sosiki/singi/index.html">http://www.soumu.go.jp/menu_sosiki/singi/index.html</a></p>
<p>関連する画像</p>	
<p>その他・備考</p>	